



# えひめ



## Contents

- ・愛媛大学工学部の学生が『みなと』を見学！
- ・松山港に東京行きのRORO船が就航！
- ・大型豪華客船『サン・プリンセス』が松山港に初寄港！
- ・道の駅・みなとオアシス『八幡浜みなと』がオープン！

松山港に入港したクルーズ客船「サン・プリンセス」  
2013.5.30撮影

2013年3月18日付で松山港湾・空港整備事務所長を拝命しました香川 泰良と申します。広報誌の発行が遅れましたことを深くお詫びいたします。

本事務所では、松山港をはじめとする地域の産業活動や人・物の交流を支える港湾整備、来島海峡航路など開発保全航路にかかる船舶の航行安全の確保、美しい瀬戸内を守るため海面に漂うごみ・油の回収による海洋環境の整備、「みなとオアシス」を中心とする交流空間・にぎわいづくり、さらに松山空港では利用者の利便性向上及び高質化の整備等を行っています。

私自身、松山勤務は2回目です。前回の勤務では松山空港の2500m滑走路の延長事業に携わりました。一人の技術者として工事終了後に一番機が飛んだ時の感動は今も忘れられません。この度の異動で再び愛媛県で勤務することとなり懐かしく感じるとともに、多くの方から港湾と空港への熱い期待のお言葉を頂き、その責任の重さを強く感じています。

私達は港湾・空港利用者をはじめ地域の皆様のご意見も伺いながら、「地図に残る仕事」として自信とやりがいを持って5つの事業を推進していく所存です。

各位におかれましては、引き続き事業へのご理解とご協力、ご指導とご鞭撻のほどよろしく  
お願い申し上げます。



松山港湾・空港整備事務所長  
香川 泰良



# 愛媛大学工学部の学生が『みなと』を見学！

2013年6月11日(火)、18日(火)に、松山港外港地区及び松山空港において、愛媛大学工学部環境建設工学科の1回生(90人)を対象にした現場見学会を開催しました。

この見学会は、松山の海と空の物流拠点となる『みなと』の役割を理解し、実際に現場を見学することで、見識を広げ、優秀な技術者の育成支援を行うために、愛媛大学と当事務所が毎年開催しているものです。

## ①松山空港

松山空港の運航状況や利用状況、当事務所が実施している誘導路の改良工事などの説明を聞き、空港施設を見学しました。誘導路の改良工事は、飛行機の安全な運航のために、飛行機の運航が終了した夜間に工事が行われていることなどを理解してもらいました。

ちなみに、6月11日(火)は、格安航空会社(LCC)のジェットスター・ジャパンの松山ー成田線が就航した日で、本路線は、中四国初の国内線LCCとして、松山空港の利用促進にも期待が寄せられています。



空港展望デッキでの説明の様子

## ②松山港コンテナターミナル

留中のコンテナ船からガントリークレーンを利用してコンテナが積み降ろしされている作業を見学し、間近で見るガントリークレーンの迫力には、学生たちも圧倒されていました。

松山港のガントリークレーンは、松山空港に隣接しているため、飛行機の運航に支障を来さないよう高さが制限されていることから、クレーンのアームが折れ曲がる珍しい構造を採用していることや、工事中の水深13m岸壁には、将来4万トンの石炭船が接岸し、背後企業が使用する石炭の輸送コストを削減することができることなどを理解してもらいました。



コンテナターミナル内での説明の様子

## ③愛媛国際物流ターミナル (I-LOT)

輸出入貨物の保管・荷さばき・流通加工等を包括に行う物流倉庫の施設見学を行いました。

このI-LOTは、松山港と松山空港に隣接している地理的特性を活用し、愛媛県の重要な国際物流拠点として欠かせないものであることを説明しました。

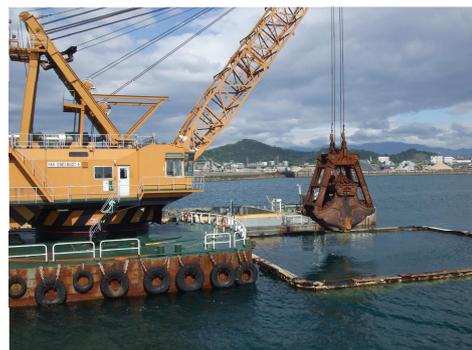
## ④工事に使用するグラブ浚渫船

水深13m岸壁前面の泊地(船が向きを変えるエリア)の海底を掘削するグラブ浚渫船を、防波堤上から見学しました。

泊地の浚渫工事について、コンテナ船の荷役作業に影響を与えないように夜間に工事を実施し、18m3級のグラブバケットで1日に約2,000m3もの土砂を掘削することや、夜間に作業員が誤って海に転落しても操作室で確認することができるシステムが搭載されていることなど、海上工事の規模の大きさや、安全対策の取り組みについて理解してもらいました。



吉田浜防波堤上での説明の様子



見学したグラブ浚渫船

## 松山港に東京行きのRORO船が就航！



2013年4月13日（土）から、RORO船※の定期航路が松山港への寄港を始めました。  
この航路は、もともと日本通運と商船三井フェリーが共同運航する博多-東京間で運航されているもので、上り便で岩国港に寄港（週3回）している便のうち、土曜日の便が松山港にも寄港することとなりました。  
松山港から関東方面へ直接荷物を運搬することができるようになることから、地元企業の物流コストの低減に繋がるものとして、今後は、松山港寄港の増便に期待がかかります。

### ※RORO船

貨物を積んだ車両（トラック、トレーラー等）がそのまま船内外へ自走し、貨物の積み降ろしを行う輸送船のこと。貨物の積み降ろしの際にクレーンが不要なため、迅速な積み降ろしによる荷役時間の短縮や大量輸送により、物流コストの削減が可能となる。



歓迎式の様子



車両の積み降ろし状況

## 大型豪華客船『サン・プリンセス』が松山港に初寄港！

プリンセス・クルーズ社が運航しているバミューダ船籍の大型豪華客船『サン・プリンセス』が、『日本の温泉地めぐりと釜山』という日本発着クルーズのツアー中、2013年5月30日（木）19:00頃松山港に初寄港しました。

翌31日（金）には、公募により当選した400名の市民が船内見学を楽しみました。その後、出港セレモニーが開催され、和太鼓演奏から始まり、松山市参与 梅岡 伸一郎氏あいさつ、記念品・花束贈呈、サン・プリンセス船長Andrew Froude氏あいさつ、記念撮影の後、17:00過ぎに出港となりました。

この後、『サン・プリンセス』は1,200名余りの乗客を乗せ、釜山、鹿児島、別府と、日本の名湯を中心に巡るツアーに出発しました。

### 『サン・プリンセス』について

総トン数77,441ト、全長261.3m、客室数は975室で、603室が海側客室であり、そのうち約70%はバルコニー付き。プールデッキには大型液晶スクリーンがあり、また、船内には4層吹き抜けの、海が見えるアトリウム・ロビーを持つ。



出港する『サン・プリンセス』

## 道の駅・みなとオアシス『八幡浜みなと』がオープン！

八幡浜市の新しい地域交流拠点施設、『八幡浜みなと』が2013年4月12日（金）にオープンし、開設記念式典が開催されました。

「みなと交流館」であった開設記念式典には、主催者である大城一郎八幡浜市長をはじめ、来賓の上甲啓二愛媛県副知事、山本公一衆議院議員、山本順三参議院議員を含め、関係者約110人が出席。

まず、大城市長から「新たな賑わいと憩いの空間が出来た。八幡浜に活気を取り戻す再生への第一歩としたい」と挨拶を頂きました。

続いて、みなとオアシスの変更登録証と、道の駅の登録証の交付式に移り、みなとオアシスの変更登録証が当事務所の香川所長から大城市長に手渡されました。八幡浜港は、2005年8月29日にみなとオアシスの登録を受けており、今回の『八幡浜みなと』の整備を受け、2013年3月22日に新たな施設へ登録の変更を行ったものです。



完成した「みなと交流館」



香川所長から大城市長にみなとオアシス変更登録証を交付



## 『じゃこカツ』グランプリ獲得！！

2013年7月13日（土）、14日（日）に北海道苫小牧市で行われた「第3回みなとオアシス・Sea級グルメ全国大会」が開かれ、八幡浜市のみなとオアシス「八幡浜みなと」が出品した『じゃこカツ』が念願のグランプリを獲得しました。第1回、第2回とも三位に甘んじていましたが、開店早々から列を作り、何度も買い求める人々も！ やはり一番うれしいことは「八幡浜の味」が北海道で認められたこと。8月大分（第4回）で、連覇を目指してがんばりましょう！！



国土交通省 四国地方整備局  
松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058  
松山市海岸通 2426-1  
TEL 089-951-0161（代表）  
FAX 089-946-8010



Coastline えひめ No.22編集・発行

【e-mail（企画調整課）】 mtjm-i88s3@pa.skr.mlit.go.jp  
【URL】 <http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/index.html>  
【海とみなとの相談窓口】 0120-497-370（全国共通フリーダイヤル）  
受付時間9:30～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・年末年始を除く）

